



☆☆☆令和7年度 沼津視覚特別支援学校☆☆☆

ろくせい 六星だより

第3号 R8.3.2



学校教育目標 「自立する人を育てる」

『オリンピック 自分を磨く力、支え合う力』

校長 田淵 尚子



2026年冬季オリンピックが開催されました。その期間は、毎日早朝からテレビにくぎ付けになってしまいました。その中で印象的なシーンがありました。スノーボードビッグエア競技で、村瀬心柊選手が演技を終えた直後、各国の選手たちが彼女の健闘を称え合う姿です。勝敗や順位を超え、互いの挑戦を尊重し合う光景は、スポーツの持つ力と、人が本来もつ温かさを私たちに感じさせてくれました。

そこには記録やメダルだけでは測れない価値がありました。自分の限界に挑み続ける強さ。同じ競技を愛し、切磋琢磨してきた仲間への友情。そして支えてくれる家族やコーチ、仲間への感謝を忘れない心の豊かさ。こうした精神性の高さこそ世界の舞台で輝く選手たちの共通点だと感じます。

社会が大きく変化する今、必要とされるのは「誰かと比べて勝つ力」よりも、「自分を磨き続ける力」と「人とつながり、支え合う力」です。オリンピックの選手たちが示してくれた姿は、まさにその象徴でした。

この姿は、本校の教育目標である「自立する人を育てる」にも通じています。自立とは、一人で何でもできるようになることではありません。自分の目標に向かって努力し続ける意志、仲間と協力しながらよりよい道を選び取る判断力、そして自分が多くの人に支えられていることに気づき、感謝を行動で示せる心のしなやかさ。これらすべてが、自立の大切な要素です。

本校の皆さんには、結果だけにとらわれず、挑戦する過程を大切にしてほしいと思います。仲間の成功を喜び、困っている人には自然と手を差し伸べる姿勢を育ててほしい。そして、自分の成長を支えてくれる周囲の人々に、素直に「ありがとう」と伝えられる人であってほしいと願っています。

本校は、幼児児童生徒の皆さんが互いを尊重し、挑戦し、感謝できる学びの場であり続けたいと考えています。今年度も多くの地域の皆様、保護者・保証人の皆様に御理解、御協力をいただき、様々な教育活動を行うことができました。ありがとうございました。これからも皆様とともに、「自立する人」を育てる教育を丁寧に進めてまいります。

☆学校の様子をホームページやFacebookで紹介していますので是非御覧ください。



沼津視覚特別支援学校ホームページ



沼津視覚特別支援学校Facebook

PTAコーナー

今年度は幼稚部2人、小学部1人、中学部2人、高等部1人の6人が卒業します。新たな旅立ちに向け、卒業生保護者からメッセージをいただきました。

御卒業おめでとうございます！

あっという間に2年間で過ぎ去り、卒業という日を迎えてしまいました。転入後の息子は先生方の温かいまなざし、友達のおかげでいろいろな経験をさせてもらい、自分に自信がつき、明るくなって、やる気も出てきました。先生方への感謝の気持ちでいっぱいです。卒業した後も自分の信じた道を自分らしく進んでいってほしいです。ありがとうございました。

脳手術の後大学をやめ、配慮を受けて入学しました。みんなと話すことが好きなのに脳疲労がひどく、静かな個室で過ごしました。がんばろうとすると手足が悪くなったり言葉が出なくなったりしました。何とかしてあげたい思いで3年の5月頃、病院を変え薬を変えたところ、血流がよくなったようで勉強をがんばれるようになり、人にマッサージすることができるようになってきました。何度も学校をやめようと思いつつながら続けて良かったです。不調の中、支えてくれた先生方に感謝しています。幼児児童生徒の皆さんにも元気をもらっていたようです。3年間ありがとうございました。これからもよろしくお願ひします。

転校したばかりの頃は、電車通学や寄宿舍での生活、勉強などの不安がたくさんあったと思います。人前で話をしたり、発表したりすることが苦手だったのに、学習発表会やお話と弁論の会で、堂々と人前に立って話をしている姿を見て、その成長ぶりに本当にびっくりしました。自然教室、修学旅行では、普段は体験できないようなことを体験し、それも自信につながったと本人も話していました。普通学級では、感じられなかったこと、体験できなかったことが、転校してからたくさん経験ができて良かったと思います。先生方にも本当にお世話になりました。私自身も、先生方や周りの保護者の方にも、いろいろなことを教わったと思っています。これからも自分の子ともっともっと関わっていきたいと思います。今後の成長も楽しみにしています。ありがとうございました。

入園したばかりの頃を思い出すと、今の姿は驚きの連続です。「ママがいい!」と泣いてしがみついていた年少…。今では先生に「おはよー!」と言って、私の手を軽く離す年長…。最初は話せる言葉も少なかったけれど、今ではおしゃべりもとっても上手でいつでもにぎやかです。明るく活発になり、自分の力でできることが少しずつ増えていきました。「静かな子になるのでは」という思い込みを覆し、可能性を広げてくれた我が子を誇りに思います。支えてくださった先生方やお友達への感謝を忘れません。ありがとうございました。

入園してから3年間、あっという間に感じたけれどいろいろなことを経験させてもらい、「できる!」が一つずつ増え、息子にとってとても中身の濃い3年間だったと思います。毎日家に帰ってくるとたくさんの出来事を聞かせてくれ、本当に園生活を楽しんでいることが伝わりうれしく思っていました。ありがとうございました。生後2か月の息子を抱え、初めて教育相談に訪ねた日のことを今でも鮮明に覚えています。不安を抱えていた私の心を救ってくださり、先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。4月から小学生になるのを「お兄さんになるんだ!!」と楽しみにしています。今後とも温かく見守ってください。

華奢で小さな背中に赤いランドセルを背負って、おそらく本人はしっかり理解できていないまま、でもうれしそうに入学式を迎えた日から、9年という月日が過ぎ、とても感慨深い思いです。

入学前からとても親身に相談にのっていただき、入学後も先生方には、本当にいろいろな面でサポートしていただきました。この学校に通うことができ、親子共々本当に幸せでした。たくさんの思い出が詰まった御校を卒業するのは寂しいですが、これまで学んできたことや経験を糧に、高校生活でも楽しく強く成長して行ってほしいと願っています。これからも娘を見守り、全力でサポートしていきます。

9年間本当にありがとうございました。

これからもがんばってください!



学校紹介コーナー

令和7年度も残り一月となりました。少しずつ春も近づいてきています。各学部の最近の様子をお知らせします。今日もたくさんの学びが輝いています。

幼稚部



幼稚部では、昔ながらの文化に親しむ正月あそびや節分あそびをしました。正月遊びでは、こまやすごろく、カルタを友達や教師と一緒に楽しみました。すごろく遊びは、自分が駒になる人間すごろくを行いました。自分たちで「ダンス」や「モノマネ」といった、お題を考えたマスを作りました。お題のマスに止まった時にはその子だけでなく、みんなで一緒に盛り上がり楽しく遊ぶことができました。節分あそびでは、自分の中にいる鬼をやっつけようと、イメージした鬼を作ったりボールで豆まきの練習をしたりしました。節分当日の鬼の登場に怖がる子どもたちでしたが、鬼に自分の中の反省するところを言われ、「もうしません!ちゃんとします!」と鬼との約束を交わしていました。色々な遊びをする中で、日本の文化に触れ、心も成長する良い機会になりました。

小学部【餅つき】



幼小学部では、餅つきを行いました。最初に餅つきの由来を学びました。前日から水につけておいたもち米を蒸すと、固かった餅米がおこわのぷにぷにした状態になり、更にこねたりついたりすることで、伸びて柔らかな状態に変化していくことに、子どもたちはびっくりしていました。また、大きな臼を、体全体を使って押して動かすことや、友達と一緒に持ち上げることに挑戦し、「何これ!?重すぎ!」などつぶやきながら、臼の大きさや重さを体全体で実感することもできました。子ども一人でも餅をつけるように、餅つきの場面では、ミニ臼・ミニ杵を使用しました。「ヨイショ!」とリズムよく声をあげて力強くついたお餅を、自分で一口サイズに取り分けて、あんこ・きな粉・砂糖醤油をつけて食べました。自分でついたお餅は、美味しかったようで、子どもたちは夢中で食べていました。みんなと楽しい雰囲気の中で、心も体もお腹も!?大満足な餅つきとなりました。

中学部 【チューリップ】



中学部では、環境委員会が中心となり、職員玄関横の花壇の管理を行っています。前期には、パンジーやビオラの花がたくさん咲いていた花壇。秋から冬にかけて、しばらく花が咲いていませんでした。現在は、花壇の半分にチューリップの球根、残り半分には、環境委員会が中心となって決めたクリスマスローズ、ビオラ、アリッサムが植えられています。生活単元学習の中で、花壇にスコップで穴を掘り、球根や花の苗を一つ一つ穴の中に置いて土をかぶせ、水やりをするといったいくつかの工程を、協力して行いました。毎日の水やりは、環境委員会の生徒が順番に担当しています。寒さに負けず咲く花の横で、最近チューリップの芽が顔を出してきました。少しずつ、春に近づいてきています。花壇にたくさんのチューリップの花が咲くのが、今から楽しみです。

高等部 【施術の力を高めるために】



高等部では、卒業後にあん摩マッサージ指圧師として患者さんを治療するため、施術の力を高める取り組みをしています。校内の実技の授業や実習だけでなく、学校外へ飛び出しマッサージ奉仕を行っています。今年度は、特別支援学校職業教育展と沼津商工会議所、第5地区センターで行いました。職業教育展は、会場が沼津駅前のイーラ de ということもあり、学校関係者だけでなく買い物に来ていたお客さんも立ち寄ってくれました。商工会議所と第5地区センターでは、毎年行っていることもありリピーターの方も多く、この取り組みが浸透してきていることを感じました。

一人ひとり骨格や筋肉の付き方が違います。多くの人を施術することで、技術も高まります。それだけでなく、色々な人たちと接することもできるので、コミュニケーション力を高めることもできます。そして、「気持ちよかったよ」「肩が上がるようになった」などの言葉が、私たちのモチベーションを高めてくれます。これからも多くの人と施術をとおしてつながり続けたいと思っています。